

「漫画 伊藤千代子の青春」 著者ワタナベ・コウさんと 田村智子副委員長 が

伊藤千代子と日本共産党を語る



< 記 >

日時 2022年1月9日（日曜日）10:00～ 休憩なし約90分間の予定

主催 日本共産党東京都委員会 | **後援** 東京民報社

ご挨拶

本日は、お寒いなかご来場くださり、ありがとうございます。

今回の企画は、昨年秋に出版された『漫画 伊藤千代子の青春』（新日本出版社）をもとに彼女の生涯を辿りながら、当時の厳しい社会情勢のなかで、最期までころざしをつらぬいた彼女のいきどまに学ぶとともに、多大な犠牲を伴いながらもその理想の多くが結実した『日本国憲法』をどう守っていくのかを考えていくものです。

昨年の総選挙では、日本共産党や野党共闘に対するさまざまな攻撃が行われ、いまでも続いています。こうしたなかで、党の躍進と政治の流れを変えるためにはどうしたらよいのかをともに探求していく時間にしたいと思います。

党創立100周年を迎える今年、平和と民主主義をもとめ、貧困や社会の不条理をなくしたいと立ち上がった日本共産党の黎明期の人々を知り、そのころざしを未来へ受け継ぐために、著者のワタナベ・コウさん、田村智子副委員長とご一緒に考えていきましょう。

新春企画実行委員会

お話すひと



ワタナベ・コウ

服装家、イラストレーター、漫画家。1963年 新潟県新井市（現妙高市）生まれ。著書に「ワタナベ・コウの日本共産党発見!!」1～3巻（新日本出版社）等多数。



田村智子

参議院議員（2期）。日本共産党副委員長、政策委員長。1965年 長野県小諸市生まれ。「桜を見る会」などの鋭い追及や説得力のある質疑・演説でタムトモファン急増中。

伊藤千代子 人物紹介

「朝から晩まで働いても、満足にご飯が食べられない
貧しい人たち、一方では贅沢をしている人たち……。こ
の不公平な社会をなんとかよい社会にしたい……」

時は明治・大正末期から昭和初期の激動の時代。天皇
の絶対的専制政治のもと、国民は「天皇の臣民」とさ
れ、貧困と無権利状態におかれていました。

1905（明治38）年、信州諏訪で生まれた伊藤千代子
が後年東京女子大で学ぶ頃、稀代の悪法「治安維持法」
が公布され思想言論弾圧がますます激しくなります。

千代子は、故郷の長野で製糸工場の大争議を通じ、労
農党の浅野晃と知り合い、結婚。大争議を浅野とともに
支援します。



伊藤千代子
1905～1929

1928年に入党
日本共産党 女子党员1号の一人

そして日本共産党と共同戦線を組んだ労農党が初の総選挙で大躍進。その躍進を恐れた
支配層は1928年3月15日の大弾圧を加えます。

千代子は検挙され激しい拷問を受け刑務所へ送られますが屈せず、獄中のリーダーとし
て侵略戦争に反対し、主権在民、ジェンダー平等の社会を目指して志を貫きました。

しかし、同志であり夫である浅野晃の変節と裏切りを知り、非人間的な刑務所での扱
いもあって千代子の身体と精神は徐々に蝕まれていきます。

千代子は、病院に収容されたものの、特高監視のもとで満足な治療も受けられず肺炎
を併発し、誰にも看取られることなく24歳の短い生涯を閉じました。

千代子のこころざしたもの---その崇高なたたかひが戦後の日本国憲法のいしずえにな
りました。いま再び戦争国家への道を突き進もうとしている日本にあって、平和のため
にたたかって斃れた（たおれた）千代子のこころざしは、いまに生きるわたしたちに受
け継がれ、時代閉塞の今日を撃つ力となっています。

出典「劇映画 伊藤千代子の生涯『わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯ー』制作を支援する会」
公式サイト <https://chiyoko-cinema.jp/index.html> より

漫画 伊藤千代子の青春



貧困と社会の不平等をなくしたいー
100年前に起ち上がった女性の
不屈の生き方を描く！！

原案 『増補新版 時代の証言者 伊藤千代子』
(藤田廣登著 学習の友社)

著者 ワタナベ・コウ
新日本出版社 定価1430円（本体1300+税10%）
2021年10月15日 初版

※会場入り口付近にて販売中
希望者にはワタナベ・コウさんよりサインしていただけます

伊藤千代子年表

何月日	伊藤千代子	日本共産党	日本社会
1905	長野県諏訪郡湖南村の農家に生まれる		
1907	母まさよ死去、養父母よ弥が母親代わりになる		
1912	湖南尋常高等小学校へ入学		
1914	中洲村（現諏訪市）の岩波家へ移る 転向した金子分教場で平林たい子と同クラスに		第一次世界大戦はじまる
1916	学校併合で中州尋常高等小学校へ 担任川上茂の特別授業を受ける		信州白樺運動、中条百合子 『貧しき人々の群』発表
1918	諏訪高等女学校へ入学 歌人土屋文明、同校へ赴任		米騒動全国に波及
1919	土屋文明から英語・国語・修身の授業を受け大きな影響を受ける		
1922	諏訪高女を卒業。生徒総代 高島尋常高等学校の代用教員になる	7月15日 日本共産党創立	
1923	女子英学塾を2回受験（不合格）	共産青年同盟結成	関東大震災（川合義虎ら虐殺）
1924	仙台・尚絅女学校高等科英文予科入学	学生社会科学連合会結成	
1925	東洋女子大学英語専攻部へ編入学 学内の社会科学研究会結成に参加		治安維持法公布 男子普通選挙法公布
1926	学外のマルクス主義学習会に参加 浅野晃を知る		京大連事件、労農党結成
1927	岡谷の製紙工場大争議を支援 浅野晃と結婚	女子学連結成（東京女子大、日本女子大中心）、 27年テーゼ	金融恐慌、山東出兵
1928	2月29日 日本共産党入党 3月15日 検挙され滝野川署に連行され、取り調べ・拷問を受ける 市ヶ谷刑務所に収監される	「赤旗」創刊 普選初の総選挙（山本宣治ら当選）	3・15弾圧 特高警察全国に設置 治安維持法死刑法に
1929	8月1日 拘禁精神病発症 8月17日 松沢病院へ収容される 9月24日 急性肺炎により死去	山本宣治、刺殺される 「赤旗」復刊 9月30日 水野成夫・浅野晃ら除名	4・16弾圧

諏訪高等女学校（現諏訪二葉高校）校長を務めた歌人、土屋文明は1935年、短歌誌『アララギ』で、教え子・千代子を悼んで次のように詠みました。

まをとめのただ素直にて行きにしを 囚えられ獄に死にき五年がほどに
こころざしつたふれしをとめよ 新しき光の中におきて思はむ
高き世をただ目ざす処女（おとめ）らここにみれば 伊藤千代子がことぞかなしき

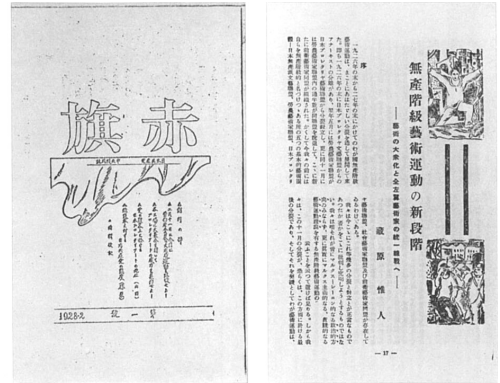


戦前の「赤旗」

「赤旗（せっき）」創刊号

27年テーゼの方針にもとづいて、党は28年2月、党中央委員会の機関紙「赤旗」を創刊。これによって党は、党の周囲にいる大衆の間にはじめて公然と姿をあらわした。

今日まで現物が発見されていないため、写真の創刊号1面は「特別高等警察資料」収録の写真を模写したもの。



3.15の弾圧を糾弾する「赤旗」第5号

党は、総選挙後「27年テーゼ」にもとづく方針と体制を全党的に確立するために、第4回党大会開催の準備をすすめた。その準備のさなかの1928年3月15日、総選挙を通じて国民のまゝにその存在をあらわした日本共産党の前進を恐れた天皇制政府は、党に対して全国いっせいの弾圧を加え、1600人におよぶ共産党員と党支持者を検挙し、野蛮な拷問を加えた。

この弾圧の嵐の中で準備され発行された「赤旗」第5号の現物は現存せず、この第一面の写真だけが残されている。

虐殺された岩田義道を弔う「赤旗」（1932年11月15日）

岩田は31年以来中央委員として「赤旗」の編集・宣伝に力を入れ、32年4月その活版化を成功させた。32年10月、東京神田の街頭で逮捕され、警視庁で拷問により虐殺された（11月3日）。

12月4日、東京本所公会堂でおこなわれた労農葬は、数百人の警官によって会場を占拠され、千人の労働者が検挙された。



日本共産党は、侵略戦争反対・国民主権の旗を掲げ、迫害に屈せず国民のなかにその影響を広げていきました。1928年に創刊された「赤旗」（せっき）は、戦時下の32年4月、地下印刷所による活版印刷を成し遂げ、五日間から、時には三日間、発行部数7000部に達しました。

非合法の過酷な条件下で、これだけの機関紙を発行するために編集・印刷・発送とその任務についた党員たちが、どれほど不屈性を発揮したことでしょう。送られてきた「赤旗」を一人一人の読者に届けること、受け取って読むことさえも時には命がけのことでした。

戦前、日本共産党以外のすべての政党は侵略戦争に加担しました。治安維持法が死刑法に改悪されるなかで、戦争に反対するのは、科学的世界観と未来への確信がなければできないことでした。

後年、哲学者の鶴見俊輔氏はこう書きました。

「すべての陣営が、大勢に順応して、右に左に移動してある中で、日本共産党だけは、創立以来、動かぬ一点を守りつづけてきた。それは北斗七星のように、...自分がどのていど時勢に流されたか...を計ることのできる尺度として、...日本の知識人によって用いられてきた」（岩波新書『現代日本の思想』）

治安維持法とは

天皇制政府は、日本共産党の主権在民と反戦平和の主張と運動を弾圧するために、1925年4月には、戦前の弾圧体制の中心をなした「治安維持法」をあらたにつくりました。25歳以上の男子の「普通選挙法」の実施を機会に、日本共産党をはじめ、民主主義運動が力を強めることをおそれたからです。

治安維持法は、1928年、天皇の命令である緊急勅令によって最高刑を「死刑」に引き上げ、さまざまな口実で国民を弾圧する「目的遂行罪」をもうけて、弾圧の対象を大きく広げました。また、41年の改悪では、刑期が終わっても政治犯を獄につなぐ「予防拘禁」制度を作り、弾圧体制をさらに強化しました。

治安維持法は、日本共産党を最大の弾圧対象におき、天皇絶対の政治体制である「国体の変革を目的」とした結社（政党）を「組織したるもの」「結社の役員その他指導者たる任務に従事したるもの」に、死刑または無期刑をくわえました（1928に改悪された治安維持法の第一条）。治安維持法は、「国体」の変革にふれない資本主義批判の主張や運動を、10年以下の懲役としました。これは、一般的な社会正義の主張や運動は多少認めても、天皇絶対の体制の変革を目指す主張や運動はけっしてゆるさないという、天皇制政府の立場をしめしましたものでした。

天皇制政府は「特別高等警察」（特高警察）などの弾圧機関を全国に張り巡らし、日本共産党にたいする猛烈な弾圧と迫害を繰り返しました。しかし日本共産党は、これに屈することなく、民主主義と侵略戦争反対の旗を掲げて、敢然とたたかいぬいてゆきました。

出典「日本共産党の八十年」（日本共産党中央委員会）より



戦前、若くして犠牲となった女子黨員

伊藤千代子と同様、世の中の理不尽に憤り、より良い日本社会の実現と国民の幸せを願ってたたかい、若くして命を奪われた女性たちがいる。

侵略戦争が終結したとき、治安維持法はただちに廃止された。そして歴史の審判は、誰が真の愛国者であったのか、誰が平和と正義のためにたたかったのかをあきらかにした。



田中 サガヨ

1910年山口県生まれ。兄の影響で32年に日本共産党へ入党。「赤旗」中央配布局で働いていたが32年に銀座4丁目の服部時計店前で逮捕される。拷問と劣悪な待遇により「笑う力もなく痩せ細った」状態に。35年に死亡（24歳10か月）。



高島 満兎（まと）

1909年福岡県生まれ。日本女子大学文科に入学。32年日本共産党に入党。東京・新宿で特攻におそわれ、二階の窓から飛び降りた時石畳で腰を打ち脊髄を複雑骨折し、下半身不随に。寝たきり生活のまま、34年に結核のため死亡。（24歳9か月）



飯島 喜美

1911年千葉県生まれ。15歳で紡績工場の労働者に。4.16大弾圧の直後共青に加盟、日本共産党へ入党。33年、スパイの手引きで検挙され、35年獄中死（24歳0か月）。後に残ったのは1円1銭の遺留金と「闘争」「死」と刻み込まれたコンパクトだった。

出典「こころざしをつたふれし少女―戦前の日本共産党員のたたかいは国民の宝」
出版社：日本共産党中央委員会出版局（1993年）より

大日本帝国憲法と日本国憲法と自民党草案の比較

	大日本帝国憲法 (1889～1945)	日本国憲法 (1945～)	改憲自民党草案
主権	天皇主権、 天皇大権中心主義	国民主権 権力分立主義	国民主権 権力分立主義 ただし緊急事態条項あり
天皇	神聖不可侵の存在 (3) 国の元首で統治権の総攬者 (4)	日本国と日本国民統合の象徴 (1) 形式的・名目的な国事行為を行う (7)	日本国の元首 (1)
戦争と軍隊	天皇に陸海空の統帥権(11) 臣民に兵役義務(20)	戦争の放棄といっさいの戦力の不保持 (9)	国防軍の保持 (9-2) 領土等の保全 (9-3) 内閣総理大臣は最高指揮官として国防軍を統括する (72-3)
国民の権利	臣民としての権利 (18) 法律の範囲内での保障 (第二章)	自由権、平等権、社会権、参政権を含むすべての基本的人権の保障 (前文・第三章) 人権の永久不可侵性 (11、97) 公共の福祉のために利用する (12)	第三章にのみ規定 自由及び権利には責任及び義務が伴うことを自覚し、常に公益および公の秩序に反してはならない (12)
国会	天皇の協賛機関 (5) 二院制、貴族院は特権階級の代表 (34) 国政調査権はなし	国権の最高機関(41) 唯一の立法機関 (41) 衆参ともに国民の代表 (43) 国政調査権あり (62)	国権の最高機関(41) 唯一の立法機関 (41) 衆参ともに国民の代表 (43) 国政調査権あり (62)
内閣	天皇の輔弼機関 (55) 国務大事は天皇に対して責任を負う (55)	最高の行政機関 (65) 議院内閣制をとり、国会に責任を負う (66-3)	最高の行政機関 (65) 議院内閣制をとり、国会に責任を負う (66-3)
裁判所	天皇の名において裁判を行う (57) 違憲立法審査権なし	司法権の独立 (76) 違憲立法審査権あり (79) 最高裁判事の国民審査 (79-2)	司法権の独立 (76) 違憲立法審査権あり (79) 最高裁判事の国民審査 (79-2)
憲法改正	天皇の発議 (73) 帝国議会の決議 (73)	国会の発議 (100) 国民投票 (100) ※条件が厳しい	国会の発議 (100) 国民投票 (100) ※条件が緩い
その他 特記事項	以下の緊急事態条項 緊急勅令 (8) 戒厳大権 (14) 非常大権 (31) 緊急時の財産処分 (70)	この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことの永久の権利として信託されたものである (97)	国旗は日章旗、国家は君が代。尊重義務あり (3) 家族は、社会の自然かつ基礎的な単位として尊重される。家族はお互いに助け合わなければならない (24) 衆議院の解散は、内閣総理大臣が決定する (54) 緊急事態条項 (第9章) すべて国民は、この憲法を尊重しなければならない (102)

2021年10月の総選挙の結果、自民、公明が衆院で安定多数を確保したのに加え、日本維新の会などの改憲勢力が議席を伸ばし、改憲勢力が改憲発議に必要な3分の2を超える議席を得ました。

岸田文雄首相は、昨年9月の自民党総裁選のときから「任期中の改憲」を繰り返し公言。総選挙での自民党公約も「早期の憲法改正」を掲げました。選挙の結果をうけ、維新が「来年の参院選挙と同日で改憲の国民投票実施」を迫るなど、改憲の突撃隊としての動きを強める一方、自民党は党の憲法改憲推進本部を「実現本部」に改称。同本部内に国民運動委員会を設置し、世論形成の強化を打ち出しています。

(しんぶん赤旗2022年1月6日「憲法改悪を許さない全国署名推進Q&A」より)

おわりに

今回は伊藤千代子という、暗黒の時代にころざしをつらぬき、不屈の精神で短い生涯を終えた女性活動家を紹介しました。いかがでしたでしょうか。戦争が終わっても、共産黨員、支持者であるというだけで差別され、理不尽な攻撃をされる。そうした中でも国民の苦難軽減、平和と民主主義を求めて訴える—このようなたたかいが、日本の各地で100年間続けられてきました。

日本共産党があったから、この国で苦しみ、困っている人々が連帯し助け合える。日本共産党があるから、この国の不正が暴かれ、あるべき姿を示すことができる。そしてもっと日本共産党の力が大きければ、新自由主義による経済格差とコロナ禍のもとで苦しむ人々を救う、やさしくて強い日本社会が作れるのではないのでしょうか。

この30年間、長期化する自公政権によって、政治は腐敗し、行政や検察、司法までもが正常な機能を失いつつあります。労働者の賃金はあがらず、社会保障費は削られ、不公平な税制となり、軍拡と改憲に固執する政治のもとで、まともに国会も開かれず、メディアもそのことを非難しない。少子化は進み、自殺者は増え、経済成長率も国民の幸福度も先進国中最下位。この国をここまでにした自公政権に、これ以上政治を任せるわけにはいきません。

歴史をつくるのは、ひとびとのたたかいです。もしあなたが、まだ日本共産党にはっていないのであれば、党を応援し、一緒にたたかってほしいのです。伊藤千代子や小林多喜二、数多くの先人たちのころざしを、ともに受け継ぎ広めていきませんか。

党創立100周年という記念すべき年の初めに、この企画にご参加いただいたことを心より感謝します。この企画が日本共産党へより深く関わるきっかけになれば、これ以上の喜びはありません。

新春企画実行委員会

しんぶん赤旗、東京民報をぜひお読みください



真実伝え、希望運ぶ
しんぶん赤旗日刊紙
創刊1928年
便利な電子版があります
月3497円（電子版も同様）
学生割 月2200円



暮らしに役立つ情報満載
しんぶん赤旗日曜版
創刊1928年 電子版なし
月930円



東京が見える東京を変える
東京民報
創刊1965年 週1回発行
月400円
（都外は郵送のみ600円）

※ 見本紙を最寄の「しんぶん赤旗」出張所からお届けします。お申込みはこちらから

